

NO.81

Jul. 2025

IST NEWS

第81号 (令和7年7月号)

“つながり”を見つける楽しさ

システム情報科学部門 准教授 比留間 真悟

令和7年4月1日付で京都大学から北海道大学に異動しました。教職員、学生の皆様にはお世話になります。どうぞよろしくお願い申し上げます。私自身、学生時代には本学院のシステム情報科学コースの研究室に所属しており、現在の研究分野である数値電磁界解析の研究を始めたのもその頃でした。現在は、大規模数値電磁界解析の高速化と、電磁界解析技術の設計応用を主なテーマとして、特に数理的アプローチに焦点を当てた研究を行っています。

ここでは、最近の研究の一例をご紹介します。近年、再生可能エネルギーの導入や電動化の進展が加速しています。また、急速に発展する生成AIの普及により、今後さらなる電力需要の増加が見込まれています。これに伴い、電力変換の高効率化を目的としてスイッチング周波数の高周波化が進んでおり、インダクタやトランスなどの磁気部品についても高周波動作が求められています。高性能な磁気部品の設計には、高精度かつ高速な電磁界解析技術が不可欠であり、解析技術の高度化・高速化は広範な応用分野に恩恵をもたらします。

こうした高周波化の流れの中で、マクスウェル方程式の近似モデルの一つであるダーウィンモデルが改めて注目されています。ダーウィンモデルは、非線形磁気特性や渦電流、寄生容量を同時に考慮できる点が特徴で、寄生容量による望ましくない挙動もシミュレーションによって予測可能とされています。しかし実際に計算を行おうとすると、解の収束が得られず、実用上の困難に直面します。コミュニティ内では、「ダーウィンモデルは悪条件な方程式である」との共通認識が徐々に形成されてきましたが、それを理論的に説明する枠組みはなく、定性的な議論にとどまっていた。そこで私は、線形代数の視点からこの問題の本質に迫ろうと試みたところ、比較的単純な解析によってその理由を説明できることが判明しました。さらに、この分析が2000年代に活発に議論されていた渦電流問題の理論と深く関連していることも明らかになりました。一見すると異なる問題に見えていたものが、同じ理論の枠組みで説明できるということに気づいたのは、新鮮で面白い発見でした。

加えて、両者に共通する構造に着目することで、これらを統一的に記述できる特異値に関する不等式を導出することに成功しました。この不等式は単なる理論的成果にとどまらず、実用的な観点からも有用です。たとえば、どのような条件で方程式の係数行列に非常に小さな特異値が現れ、悪条件性が生じるのかを簡潔に記述することが可能となります。また、それらの特異値にどのように対処すべきかについての指針も得られるようになります。現在は、この方法論をさらに

発展させ、外部回路との結合系において発生する悪条件な方程式の構造的な原因の解明と、それを改善するための新たな前処理手法の提案に取り組んでいます。新しい前処理法の設計は順調に進んでおり、図1に示すように、従来の解法と比較して反復回数を20分の1以下に、計算時間を20倍以上に高速化する成果を得ています。

これらの取り組みは私の研究の一端にすぎませんが、他にも最適設計やAIを活用した設計手法の開発など、多岐にわたるテーマに取り組んでいます。今後、本学院においてもインパクトある研究を展開できるよう、一層努力してまいります。

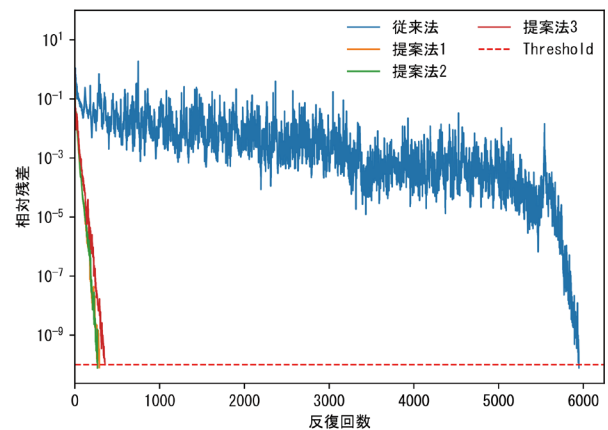


図1 前処理の設計による収束改善

最後に、学生の皆さんへのメッセージを添えさせていただきます。研究とは、多くの場合「一見無関係に思える事柄」が「実は深くつながっている」と気づく経験の連続です。そのような発見の背景には、広範で多様な知識を柔軟に組み合わせる力が必要とされます。このようなアイデアを創出する能力は、現時点では生成AIでも完全には代替できていない領域の一つであり、研究者にとって不可欠な素養です（将来的にAIが実現する可能性はありますが、その時期は不明です）。学生の皆さんにはぜひ、「今、社会で何が求められているか」を意識しつつも、純粋な学問的好奇心を大切に、「学ぶことそのもの」を楽しんでほしいと願っています。そして、得た知識を「そのままの形でしか使えないもの」としてではなく、応用・変形・再構成できる柔軟な発想で、未知の問題に挑戦していただきたい。

本学院での学びが、皆さんにとって実り多いものとなることを心より願っております。

令和6年度北海道大学情報科学院「学院長賞」

情報科学院では、学院学生への顕彰制度として北海道大学情報科学院「学院長賞」を設けています。

この度の「学院長賞」授与者は、修士課程5名、博士後期課程4名でした。



【学院長賞】

情報理工学コース修士課程	鈴木 琉
情報エレクトロニクスコース修士課程	吉村 充生
生体情報工学コース修士課程	須藤 志保
メディアネットワークコース修士課程	清野 竜生
システム情報科学コース修士課程	中山 翔太
情報理工学コース博士後期課程	張 恩智
生体情報工学コース博士後期課程	古川 凌
メディアネットワークコース博士後期課程	竹下 昌志
システム情報科学コース博士後期課程	李 一達

令和7年度大学院入学者数

令和7年度北海道大学大学院情報科学院入学者数は次の表のとおりです。

令和7年度入学者数

専攻	定員	入学者数
情報科学	196	209 [15]
	43	31 [7] ③

- ・ 上段：修士課程、下段：博士後期課程
- ・ []：留学生（内数）
- ・ 丸囲み数字：社会人入試（内数）

新しい大学院生に贈る言葉

新入生の皆さん、入学・進学おめでとうございます。

令和7年4月、私たちの大学院情報科学院に、修士課程209名、博士後期課程31名の皆さんを迎えることになりました。

本学院には、情報科学に関する五つのコース、情報理工学コース、情報エレクトロニクスコース、生体情報工学コース、メディアネットワークコース、システム情報科学コースが配置されています。本学院で学ぶ皆さんは、所属するコースでその専門を深く学び（主専修）、他のコースで異なる分野を学ぶ（副専修）双峰型教育カリキュラムで、情報科学に関する幅広い知識を身に付けることができます。どのコースに所属しても、プロジェクトマネジメント技術を学べる実践型科目や、本学院と連携するマサチューセッツ大学アマースト校およびシドニー工科大学の教員が英語で講義する国際連携科目を履修することができます。ぜひ、このような科目を受講し、国際的な視野と実践力を身につけてください。

さらに、本学院には五つの連携分野が設置され、産業技術総合研究所、宇宙航空研究開発機構（JAXA）、物質・材料研究機構

（NIMS）、NTT、NTTドコモなどに所属する研究者が、本学院での講義と研究指導を行っています。このように、本学院は基礎研究から社会実装までを学べる学習・研究環境を提供します。

本日入学する皆さんには、本学院で多くの知識を身に付けてもらいたいと思います。かつて日本では詰め込み教育が批判され、創造性教育の必要性が声高に叫ばれた時代がありました。創造性教育の重要性自体は間違いではありません。しかし創造性教育を行えば、知識が無くても創造が生まれるとの誤解を与えてしまいました。知識を持った人が必死に考えた時に良いアイデアが生まれるのであって、知識を持っていない人がどんなに考えても良いアイデアは生まれません。ですので、学生時代に知識を詰め込むということは必要なことだと私は思います。

いまは、「何々に関するレポートを作って」というと、生成AIが人間にも劣らない良質のレポートを作ってくれる時代になりました。「知らないことはAIに聞けばよいのだから、知識を詰め込む必要はあるのか」と皆さんは思うかもしれません。確かに細かい知識はAIに問い合わせるのが効率的です。では、AIの発達により、皆さんが勉強しなくても良い素晴らしい時代が到来したのでしょうか？

私はそうは思いません。基礎的な知識を身に付けていないと、自分が何をわかっていないのかがわかりません。いったいAIに何を聞けば良いのかがわかりません。

AIが適切に回答しても、その回答が理解できないかもしれません。AIが間違った回答をした場合は、それを鵜呑みにしてしまうかもしれません。大学院では、自分の研究を他人に説明し、理解してもらう必要があります。どんなに生成AIが素晴らしいスライドを作ってくれても、知識が無ければ、他人に理解してもらえないような説明をすることはできないでしょう。ですので、どんなにAIが発達しても、皆さんが勉強しなくても良い時代は来ないと、私は思います。

しかし、知識を身に付けた人にとっては、AIは、さらなる学習や研究を進める上で最高の道具となることでしょう。AIは皆さんの学習や研究の効率を飛躍的に高めてくれるはずですが、本学院において、皆さんがAIの利点と欠点を良く理解し、学習や研究に上手に利用することを期待しています。

本日、入学する皆さんは、是非、本学院で最先端の情報科学を学び、その基礎を基に新しい理論や技術を生み出してください。そして本学院の課程を修了した後は、皆さんが本学で学んだことを社会の発展に役立て、私の想像を超える未来を創造してくれることを、今から楽しみにしています。

また、大学や大学院は学問や研究を行う場であると同時に、人と人が出会う場でもあります。先輩や同級生、後輩との出会い、共同研究先の企業の方との出会い、学会での他機関研究者との出会い、それらの一つ一つの出会いを大事にしてください。そのような出会いが、皆さんの生涯の財産となります。

皆さんが本学院において、学問と研究の楽しさを学び、多くの人と出会い、自身の可能性を広げる素晴らしい経験ができることを強く願い、私からのお祝いの言葉とさせていただきます。



【左列】5コース長、【右列】両副研究院長、工学系事務部長
 （本記事は、4月3日に举行された情報科学院入学式での学院長挨拶に基づき、新規に書き下ろしたものです。）

（情報科学院長 近野 敦）

【人事異動】

〔教授〕

情報科学研究院（定年退職）令和7年3月31日	
富田 章久	情報エレクトロニクス部門 先端エレクトロニクス分野
五十嵐 一	システム情報科学部門 システム融合学分野
情報科学研究院（昇任）令和7年4月1日	
坂本 大介	情報理工学部門 複合情報工学分野
伊達 宏昭	システム情報科学部門 システム創成学分野
情報科学院（委託）令和7年5月1日	
電子科学研究所 中野谷 一	情報科学専攻 情報エレクトロニクスコース

〔准教授〕

情報科学院（退職）令和7年3月31日	
量子集積エレクトロニクス 研究センター 原 真二郎	情報科学専攻 情報エレクトロニクスコース
情報科学研究院（採用）令和7年4月1日	
李 吉屹	情報理工学部門 知識ソフトウェア科学分野
XIAO LING	情報理工学部門 数理科学分野
澤山 正貴	メディアネットワーク部門 情報メディア学分野
比留間 真悟	システム情報科学部門 システム融合学分野
情報科学研究院（昇任）令和7年4月1日	
藤後 廉	メディアネットワーク部門 情報メディア学分野
情報科学研究院（配置換）令和7年4月1日	
前田 圭介	メディアネットワーク部門 情報メディア学分野

〔助教〕

情報科学研究院（退職）令和7年3月31日	
折川 幸司	システム情報科学部門 システム融合学分野
情報科学院（退職）令和7年3月31日	
電子科学研究所 曲 勇作	情報科学専攻 情報エレクトロニクスコース
情報科学院（委託）令和7年5月1日	
電子科学研究所 JEONG AHRONG	情報科学専攻 情報エレクトロニクスコース

〔特任教授〕

情報科学研究院（任期満了退職）令和7年3月31日	
小野 哲雄	情報理工学部門 複合情報工学分野
坂本 雄児	メディアネットワーク部門 情報メディア学分野
情報科学研究院（採用）令和7年4月1日	
山下 裕	システム情報科学部門 システム創成学分野

〔特任准教授〕

情報科学研究院（採用）令和7年4月1日	
岡本 淳	情報エレクトロニクス部門 先端エレクトロニクス分野

〔客員教授〕

情報科学院（任期満了退職）令和7年3月31日	
古敷谷 優介	メディアネットワークコース (連)ユビキタスネットワーク社会学分野
吉田 智暁	メディアネットワークコース (連)ユビキタスネットワーク社会学分野

情報科学院（採用）令和7年4月1日	
高橋 央	メディアネットワークコース (連)ユビキタスネットワーク社会学分野
島田 達也	メディアネットワークコース (連)ユビキタスネットワーク社会学分野

〔事務職員等〕

〔転出〕令和7年3月31日	
佐藤 規久	事務課長 (病院事務部医事課長へ)
吉川 幸児	総務担当主任 (低温科学研究所主任(総務担当)へ)
長縄 智泰	会計担当 (北方生物圏フィールド科学センター(森林園北事務担当)へ)
〔任期満了退職〕令和7年3月31日	
内藤 真一	総務担当嘱託職員
植田 和子	情報科学研究院図書室事務補助員
〔転入〕令和7年4月1日	
勘原 和彦	事務課長 (メディア・観光学事務部事務長より)
瀧 雅人	事務課長補佐 (研究推進部研究支援課課長補佐より)
東野 友泰	総務担当主任 (法学研究科・法学部主任(庶務担当)より)
富樫 奈美	会計担当 (医学系事務部会計課(外部資金担当)より)
〔採用〕令和7年4月1日	
馬場 友紀乃	情報科学研究院図書室事務補助員
〔採用〕令和7年5月1日	
齊藤 英恵	教務担当事務補佐員
〔退職〕令和7年6月30日	
秋山 多美子	教務担当事務補佐員
〔転出〕令和7年6月30日	
関藤 元太	会計担当係長 (財務部主計課財務管理室係長(財務管理担当)へ)
〔転入〕令和7年7月1日	
齋藤 久	会計担当係長 (函館キャンパス事務部係長(経理担当)より)

【受賞等】

〔教員〕

2024年12月25日	間藤 昂允
システム情報科学部門システム融合学分野助教	
一般社団法人電気学会 超電導機器技術委員会 若手優秀発表賞 「バンドル化されたNI HTSテープ巻線による電流遮断時の安定性に関する検討」	
2025年2月4日	竹井 邦晴
情報エレクトロニクス部門先端エレクトロニクス分野教授	
日本学術振興会 第21回(令和6年度)日本学術振興会賞 「スマートフレキシブルセンサシステムの開発」(Development of Smart Flexible Sensor System)	
2025年5月27日	竹井 邦晴
情報エレクトロニクス部門先端エレクトロニクス分野教授	
北海道大学 令和7年度 ディスティンクイッシュトリチャー この称号は、令和4年に創設された本学の「ディスティンクイッシュトリチャー制度」によるもので、「本学の教育研究の一層の推進及び優秀な若手教員の確保に資すること」を目的として付与されるものです。今年度は全部局の45歳以下の教員の中から3名が選出され授与されました。	
2025年6月2日	長谷山 美紀
メディアネットワーク部門情報メディア学分野教授	
総務省 令和7年度「電波の日」総務大臣表彰 長年にわたり総務省が行う電波利用料による研究開発等の評価に携わり、公正かつ適正な評価を通じて電波有効利用技術の実用化及び社会実装に寄与し、国民共有の財産である有限希少な電波資源の拡大に多大な貢献をした。	

〔学生〕

2025年3月14日	阿部 晃平
情報科学専攻情報理工学コースM2	
ICBDA Conference Committees Best Oral Presentation Award 「Caption Generation for Garment Image Pair Comparison using Vision-Language Model with Attribute Relationships」(属性関係を考慮した視覚言語モデルを用いた衣服画像ペア比較のためのキャプション生成)	

2025年3月27日	脇 修平
情報科学専攻メディアネットワークコースD1	
一般社団法人電子情報通信学会 環境電磁工学研究専門委員会 若手優秀賞 「Numerical Assessment of Temperature Increase Due to Implanted Metal Plates from Magnetic Coupling Wireless Power Transfer System in 6MHz Band」(6MHz帯磁界結合型WPTシステムからの電波ばく露による医療用金属プレートに起因した温度上昇推定)	
2025年5月19日	吉村 充生
情報科学専攻情報エレクトロニクスコースD1	
公益社団法人 応用物理学会新領域 フォノンエンジニアリング研究会 講演奨励賞 Best Presentation Award 「希土類酸化物LnO ₂ の熱伝導率：内殻f軌道は熱輸送に寄与するか?」(Thermal conductivity of rare-earth oxides LnO ₂ : Does the inner-shell f-orbital contribute to heat transport?)	

※職名・学年・所属は受賞時

長谷山美紀教授が令和7年度「電波の日」 総務大臣表彰を受賞

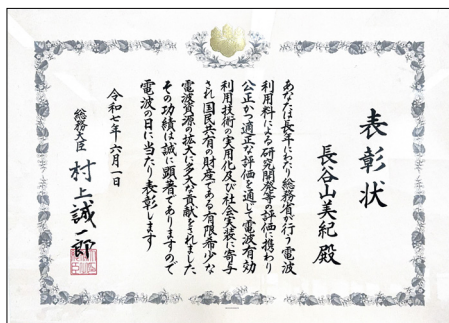
この度、令和7年度の「電波の日」総務大臣表彰を頂戴いたしました。本表彰は、総務省及び情報通信月間推進協議会が「電波の日」及び「情報通信月間」に当たり、電波利用又は情報通信の発展に貢献した個人及び団体、デジタルコンテンツの今後の創作活動が期待される者に対して行うものです。

私の表彰理由は、「長年にわたり総務省が行う電波利用料による研究開発等の評価に携わり、公正かつ適正な評価を通じて電波有効利用技術の実用化及び社会実装に寄与し、国民共有の財産である有限希少な電波資源の拡大に多大な貢献をした。」というものです。私の知識や経験が、少しでもお役に立てたのであれば大変嬉しく思います。このような賞をいただくことができましたのも、たくさんの方にご支援を賜りましたおかげです。皆様には心よりお礼申し上げます。

私自身は、マルチメディアデータを対象としたAI・IoT・ビッグデータ解析技術の開発と実社会応用を研究テーマとして活動を行ってまいりました。今では研究内容も多岐にわたり、多様な分野から期待が寄せられています。一方で、この分野の進展は早く、基礎的研究が極めて重要と考えております。今回の受賞を励みに、情報科学分野の発展に貢献できるよう、より一層精進して参ります。



記念式典の様子



表彰状

(メディアネットワーク部門 教授 長谷山 美紀)

情報科学研究院 新任教員紹介

1. 最終学歴および学位、2. 専門分野



李 吉屹 准教授

情報理工学部門 知識ソフトウェア科学分野

- 平成25年京都大学大学院情報学研究科博士後期課程修了、博士(情報学)
- Human-in-the-Loop機械学習、自然言語処理、マルチメディア



XIAO LING 准教授

情報理工学部門 数理科学分野

- 令和2年华中科技大学機械科学与工程研究院機械工学専攻博士後期課程修了、博士(工学)
- 多モーダル処理、エンボディドAI、知覚と意思決定システム



澤山 正貴 准教授

メディアネットワーク部門 情報メディア学分野

- 平成25年千葉大学大学院融合科学研究科博士後期課程修了、博士(学術)
- 視覚科学、認知神経科学、コンピュータ科学



比留間 真悟 准教授

システム情報科学部門 システム融合学分野

- 令和3年北海道大学大学院情報科学院博士後期課程修了、博士(情報科学)
- 数値電磁界解析、トポロジ最優化

情報科学院 新任教員紹介

1. 最終学歴および学位、2. 専門分野



電子科学研究所 中野谷 一 教授

情報科学専攻 情報エレクトロニクスコース担当

- 平成22年九州大学大学院工学府博士後期課程修了、博士(工学)
- 有機光エレクトロニクス、光化学



電子科学研究所 JEONG AHRONG 助教

情報科学専攻 情報エレクトロニクスコース担当

- 令和5年九州大学大学院総合理工学府博士後期課程修了、博士(工学)
- 薄膜機能材料、熱電変換、透過型電子顕微鏡

令和7年度情報科学研究院・情報科学院 部門長、コース長及び各種委員会委員等一覧

●部門長・副部門長/コース長・副コース長

部門/コース名	部門長/コース長 (任期：1年)	副部門長/副コース長 (任期：1年)
情報理工学	中村篤祥	坂本大介
情報エレクトロニクス	末岡和久	竹井邦晴
生命人間情報科学 〔生体情報工学〕	舘野高	遠藤俊徳
メディアネットワーク	齊藤晋聖	小川貴弘
システム情報科学	北裕幸	野口聡

●運営会議

職名	研究院運営会議 (職指定)	学院運営会議 (職指定)
研究院長・学院長	近野敦	近野敦
副研究院長・副学院長	浅井哲也 田中章	浅井哲也 田中章
研究院長補佐	吉岡真治 岡嶋孝治 大鐘武雄 田中孝之 佐々木博之	/
事務部長	佐藤哲生	佐藤哲生

●部門長会議/コース長会議

職名・部門/コース名等	部門長会議 (職指定)	学院コース長会議 (職指定)	学部コース長会議 (職指定)
研究院長・学院長〔副工学部長〕	近野敦	近野敦	近野敦
副研究院長・副学院長	浅井哲也 田中章	浅井哲也 田中章	浅井哲也 田中章
学 科 長	/	/	齊藤晋聖
副 学 科 長	/	/	野口聡
情報理工学	中村篤祥 坂本大介	中村篤祥 坂本大介	中村篤祥 坂本大介
情報エレクトロニクス	末岡和久 竹井邦晴	末岡和久 竹井邦晴	末岡和久 竹井邦晴
生命人間情報科学 〔生体情報工学〕	舘野高 遠藤俊徳	舘野高 遠藤俊徳	舘野高 遠藤俊徳
メディアネットワーク	齊藤晋聖 小川貴弘	齊藤晋聖 小川貴弘	齊藤晋聖 小川貴弘
システム情報科学	北裕幸 野口聡	北裕幸 野口聡	北裕幸 野口聡

令和7年度情報科学研究院・情報科学院 部門長、コース長及び各種委員会委員等一覧

●常置委員会（研究院）

○委員長

職名・部門名等	将来構想委員会 (職指定)	質保証委員会 (任期：1年)	学術委員会 (任期：2年)
研 究 院 長	○近 野 敦	○近 野 敦	
副 研 究 院 長	浅 井 哲 也 田 中 章	浅 井 哲 也 田 中 章	○浅 井 哲 也
情 報 理 工 学	中 村 篤 祥 坂 本 大 介	今 井 英 幸	杉 本 雅 則
情 報 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	末 岡 和 久 竹 井 邦 晴	本 久 順 一	植 村 哲 也
生 命 人 間 情 報 科 学	舘 野 高 遠 藤 俊 徳	橋 本 守	岡 嶋 孝 治
メ デ ィ ア ネ ッ ト ワ ー ク	齊 藤 晋 聖 小 川 貴 弘	土 橋 宜 典	大 鐘 武 雄
シ ス テ ム 情 報 科 学	北 野 裕 幸 野 口 聡	山 下 裕	伊 達 宏 昭
研 究 企 画 室			(大 鐘 武 雄)
教 育 企 画 室 (学 院)			竹 井 邦 晴
事 務 部 長	佐 藤 哲 生	佐 藤 哲 生	
事 務 課 長	勘 原 和 彦		勘 原 和 彦

●常置委員会（学院）

○委員長

職名・コース名等	将来構想委員会 (職指定)	質保証委員会 (任期：1年)	学術委員会 (任期：2年)
学 院 長	○近 野 敦	○近 野 敦	
副 学 院 長	浅 井 哲 也 田 中 章	浅 井 哲 也 田 中 章	○田 中 章
情 報 理 工 学	中 村 篤 祥 坂 本 大 介	今 井 英 幸	杉 本 雅 則
情 報 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	末 岡 和 久 竹 井 邦 晴	本 久 順 一	丸 亀 孝 生
生 体 情 報 工 学	舘 野 高 遠 藤 俊 徳	橋 本 守	平 田 拓
メ デ ィ ア ネ ッ ト ワ ー ク	齊 藤 晋 聖 小 川 貴 弘	土 橋 宜 典	小 川 貴 弘
シ ス テ ム 情 報 科 学	北 野 裕 幸 野 口 聡	山 下 裕	田 中 孝 之
教 育 企 画 室			(田 中 孝 之)
事 務 部 長	佐 藤 哲 生	佐 藤 哲 生	
事 務 課 長	勘 原 和 彦		勘 原 和 彦

令和7年度情報科学研究院・情報科学院 部門長、コース長及び各種委員会委員等一覧

●各室（研究院）

○室長

職名・部門名等	広報・情報室 (任期：2年)	安全衛生管理室 (任期：2年)	国際交流推進室 (任期：2年)	研究企画室 (任期：2年)
副 研 究 院 長	○浅井 哲也	/	○田中 章 浅井 哲也	○浅井 哲也
情 報 理 工 学	宮原 英之	堀山 貴史	山本 雅人 山下 倫央	山本 雅人
情報エレクトロニクス	山ノ内路彦	/	富岡 克広 竹井 邦晴	富岡 克広
生命人間情報科学	松元 慎吾	/	小柳香奈子 渡邊日出海	小柳香奈子
メディアネットワーク	日景 隆	/	大鐘 武雄 伊藤 敏彦	大鐘 武雄
システム情報科学	小林 孝一	原 亮一	伊達 宏昭 田中 孝之	伊達 宏昭
事 務 課 長	勘原 和彦	勘原 和彦	勘原 和彦	勘原 和彦

●各室（学院）

○室長

職名・コース名等	広報・情報室 (任期：2年)	安全衛生管理室 (任期：2年)	国際交流推進室 (任期：2年)	教育企画室 (任期：2年)	進学・就職支援室 (任期：1年)	FD推進室 (任期：2年)
副 学 院 長	○浅井 哲也	/	○田中 章 浅井 哲也	○田中 章	/	○浅井 哲也 田中 章
情 報 理 工 学	宮原 英之	堀山 貴史	山本 雅人 山下 倫央	山下 倫央	山本 雅人	吉岡 真治
情報エレクトロニクス	山ノ内路彦	/	富岡 克広 竹井 邦晴	竹井 邦晴	竹井 邦晴	植村 哲也
生 体 情 報 工 学	松元 慎吾	/	小柳香奈子 渡邊日出海	渡邊日出海	遠藤 俊徳	西川 淳
メディアネットワーク	日景 隆	/	大鐘 武雄 伊藤 敏彦	伊藤 敏彦	小川 貴弘	佐藤 孝憲
システム情報科学	小林 孝一	原 亮一	伊達 宏昭 田中 孝之	田中 孝之	○野口 聡	田中 文基
事 務 課 長	勘原 和彦	勘原 和彦	勘原 和彦	勘原 和彦	勘原 和彦	勘原 和彦

令和7年度情報科学研究院・情報科学院 部門長、コース長及び各種委員会委員等一覧

●工学部委員会委員情報エレクトロニクス学科

所属	コース長 (任期：1年)	教務委員会 (任期：1年)	学生委員会 (任期：1年)	入試委員会 (任期：1年)
副 工 学 部 長	近野 敦			
全 学 教 務 委 員 会	田中 章	田中 章	田中 章	田中 章
情 報 理 工 学 コ ー ス	中村 篤祥	野田五十樹	河口万由香	中村 篤祥
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	末岡 和久	樋浦 諭志	樋浦 諭志	末岡 和久
生 体 情 報 コ ー ス	舘野 高	松元 慎吾	松元 慎吾	舘野 高
メディアネットワークコース	齊藤 晋聖	佐藤 孝憲	ジエプカ ラファウ	齊藤 晋聖
電気制御システムコース	北 裕幸	妹尾 拓	野口 聡	北 裕幸

●工学部広報室

情報エレクトロニクス学科 (任期：2年)	宮原 英之	安藤 洸太	松元 慎吾
	筒井 弘	伊達 宏昭	

●工学部 学科長・副学科長

学科	学科長 (任期：1年)	副学科長 (任期：1年)
情報エレクトロニクス学科	齊藤 晋聖	野口 聡

●工学部将来構想委員会委員 (情報科学研究院分)

副 工 学 部 長	近野 敦
全学教務委員会委員(情)	田中 章
学 科 長 (任期：1年)	齊藤 晋聖

●全学教育「情報学」科目企画責任者

科 目 企 画 責 任 者 (任期：2年)	大鐘 武雄
--------------------------	-------

IST NEWS No.81 令和7年7月31日発行

発行：北海道大学
大学院情報科学院／情報科学研究院
広報・情報室



大学院情報科学院／情報科学研究院
ホームページ
<https://www.ist.hokudai.ac.jp/>